



編集と発行

金木町企画室

金木町大字金木字朝日山323
電話 53 2111 (代表) 内線40

昭和59年7月号 (第219号)

三十六回目の桜桃忌

太宰を偲び二百人

金木町の生んだ作家・太宰治が玉川上水で入水自殺したのが昭和二十三年。命日の六月十九日、関係者や太宰ファンが集り三十六回目の桜桃忌が催されました。

この日はあいにく小雨交じりの空模様でしたが、午後一時には、芦野公園文学碑前に、長女の津島園子さん、



発起人の高橋彰一さん(津) きました。故人が好きだったサクラの空模様でしたが、午後 軽書房社長をはじめ、太宰文学ファンら約三百人が集まり昨年より長い列がで

午後二時から、中央公民館で「太宰治論」や「現代作家論」などの著書で知られる文芸評論家・奥野健男氏を招き「太宰治について」と題して記念講演が開かれ、約二百人が熱心に聴講しました。

このあと、生家「斜陽館」に場所を移し、懇談会が開かれ故人の友人、知人らが自己紹介を兼ねて太宰の思い出などを語っていました。

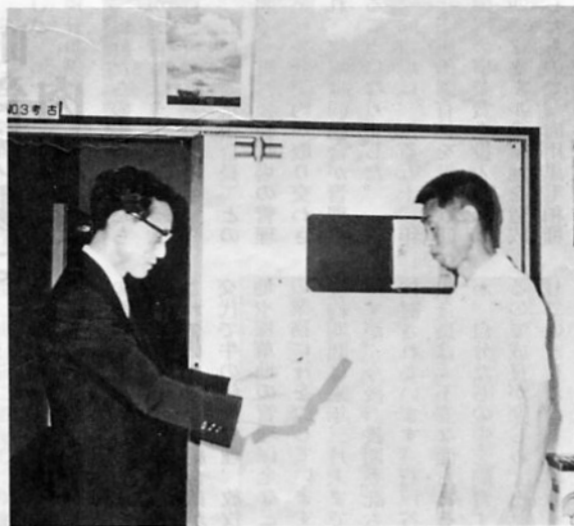
今年の桜桃忌も含め参加者は、年毎に増え、太宰文学の根強い人気が伺われました。

資料館の入館者 5万人突破

作家・太宰治の遺品などを展示している町立歴史民俗資料館の入館者が去る6月24日に5万人を数え、町ではこれを記念して来館者に感謝状と記念品を贈りました。

五万人目の来館者は、福井県福井市在住の江前秀夫さん(53歳)で奥さんの千代子さんと東北気まま旅行の途中金木町を訪れたもので、資料館に立寄った江前さんは、思いがけない贈り物に感激していました。

同資料館は、芦野公園の一郭に昭和五十三年八月にオープン以来、五十四年八月に一万人、五十六年十一月に三万人と着実に入館者が増え、今年で五万人を突破したものです。今後、さらに多くの入館を待ち望んでいます。





百姓一揆だ 大会

金木農協で 生産者

「国民の食糧と農業を守る生産者大会」が、さる六月二十日午後七時から金木農協会議室で開かれ、組合員ら約二百人が「要求米価を勝ちとろう」と氣勢を上げました。大会は、同農協が、国の農業政策と、農業事情を参加者に報告し、「怒り」を

結集して要求米価を貫徹しよう。と開いたものでテーマを変え今年で四回目。「協同」と書かれたハチマキを締め、窮迫している農業事情を察知した参加者は、中谷藤太郎組合長のあいさつや農協中央会の情勢報告を真剣に受けとめ、原田キナさんら六人の代表が、「米穀の需給政策改善に関する要請」など六つの決議案を朗読すると、万場の拍手で承認決議しました。このあと、米賣の古川竹夫町長らが「団結こそが物事を動かす原動力。意志統一を図り実のある米価を勝ちとってください。」などと激励しました。

要求米価の貫徹をはじめ輸入米の反対、りんご、野菜、畜産の振興、さらに農家経済の復興を目標に「ガンバロー」を三唱して約二時間の大会を終えました。

金木八幡宮 四百五十年大祭

六月十八日、金木八幡宮（笹木昭治宮司）で勸請四百五十年の記念大祭が催されました。

八幡造りの同宮は町内で唯一の宮司をもつ由緒ある神社で、怨敵退散の祈願所として大永年間（一五三〇年代）に建立されたものと伝承され、現在の笹木昭治宮司は十七代目に当り、四百五十年の古い歴史もっています。また、明治時代の大火で神殿は、大蔵手植えの松と巨木の大銀杏と共に焼失しましたが、明治四

十年、名工堀江佐吉の手により再建されたものです。大祭は、午前十時に無形文化財の荒馬などを交えた町内行列を行ったあと、午後一時から総代、参拝者ら約百五十人が参列、同境内でおそかに催されました。十一人の宮司は、身を清め、候神の儀を終えると、次々に祝詞を奏上、参列者もかしわ手を打ち、神殿に願っていました。

この後、神楽が奉納されるなど、終日境内は平安時代を思わせる雰囲気でした。



町営牧場は 肉用牛組合で管理

自分たちの牛は自分たちが飼育しよう」と、さる七月一日、町と町肉用牛組合（石戸谷秀雄組合長）との間で、町営模範牧場の管理業務委託契約が取り交わされ、牧場は同組合が管理することになりました。

同牧場は、さる五十二年、小田川山国国有林を借受け四億円の事業費を投入し八十四ヘクタールの草地を造成したもので、肉用黒毛和種

の繁殖牛を放牧しています。現在、百三十三頭が放牧されていますが、組合員が交代で牛の飼育管理、放牧地や採草地の管理保全などの業務に汗を流しています。契約期間は来年三月末までですが、今後、長期委託も検討されています。石戸谷組合長は「不安な面もあるが、自分たちの牛を飼育するので成長が楽しみ。」と話していました。

金木Bチーム優勝

北郡ゲートボール大会

第一回シルバークゲートボール北郡選手権大会が、六月二十九日、川倉老人福祉センターで開催され、金木Bチームが見事優勝しました。

この大会は、北津軽郡社会福祉協議会(花田一会長)が、ゲートボールを通じて親睦を深め、健康増進に役立ててもらおう。と主催したもので、北郡六町村十二チーム百二十人が参加して行われました。

試合は、開会式のあと午前十時から開始され、ステックさばきもあざやかに



優勝した金木Bチーム
今由吉さんのスティックさばき

第1回町民マラソン大会 88人が全員完走

健康増進と体力づくりにと、第一回金木町民防犯健康マラソン大会が、さる七月八日金木高校グラウンドを出発点に開催され、参加者は、心地よい汗を流しました。

金木町体育

また、お昼には連合婦人会やボランティアの方が準備してくれた豚汁とおにぎりに舌鼓を打っていました。午後二時の閉会式で、花田会長は「毎年二回くらい実施し老人の皆さんに喜んでもらいたい」などといさつし参加選手達の拍手をあげていました。

試合結果は次のとおり
▽優勝 金木Bチーム
監督 三浦 禪雄
選手 今由吉、今其次、小野忠雄、板庭貞三、今トシ

▽第二位 板柳Aチーム
▽第三位 中里Aチーム
▽第四位 中里Bチーム

この日は、微風、曇り空で気温が十九度と、絶好のマラソン日和となり、参加者は、思い思いのフォームで日頃の練習の成果を発揮し、全員完走。ゴールでは盛んな拍手で迎えられました。

大会結果は次のとおり。
▽女子三キロ
一位 前田千佳子(金中)
二位 山中真理子(南中)
三位 藤本 佳子(金中)



竹内氏は、五期にわたり町議会議員として地方自治の振興に貢献するかわら、今回の受賞となった国保運営委員を長年務め、国民健康保険事業の発展に尽くされました。



竹内氏に 国保連合会長賞

ガソリンスタンドの
日曜営業案内
▽8月19日(第3日曜日)
三上石油 52-12370
▽8月26日(第4日曜日)
吉万石油 53-12534
※8月第1・第2は平常通り営業。

協会(原田一実会長)と町教育委員会が主催して開かれたこの大会は、金高グラウンドと大東ヶ丘間の往復コースで行われ、八十八人が参加しました。

またこの大会は十月に行われるむつ湾駅伝大会の選手選考会も兼ねており九月頃に第二回目を予定しています。

七月三日、第七十七回青森県国民健康保険団体連合会(秋山卓二郎会長)の通常総会が青森市で開かれ、昭和五十九年度国保運営委員の部で金木町から、竹内武六氏が会長賞を受賞しました。

訪問販売に気をつけよう 総合移動消費生活センター

今年度第一回目の総合移動消費生活センターが、六月二十二日保健センターで開催されました。

この移動生活センターは、かしい消費者となつて、毎日の生活に少しでも役立つてらおうと県の消費生活センターと町が共催して開いたものです。

この日午後一時から参加した約四十人の町連合婦人会員らは「訪問販売」の映画を見て、クーリングオフ制度を知り、講師の具体的な説明を聞くなど、消費生活の知識や訪問販売等に関する法律を勉強しました。

この催しは九月中旬にテーマを変えて第二回目を予定していますので、お気軽に参加してください。

最優秀賞に田中賢三氏 今年度水稲育苗コンクール

五十九年度水稲育苗コンクールの表彰式がさる六月二十八日、中央公民館で開かれ、最優秀賞の田中賢三さん(時田)ら三十五人を表彰しました。

このコンクールは、育苗技術が優れた農家を選抜表彰し、その技術内容を公表することによって、米質向上と農家経営の安定を図るため町産業振興会議が主催して毎年実施しているものです。

今年には百六十人が参加、金木地区農業改良普及所や農協などの職員らが審査員となり、苗代での育苗状況や苗の分解調査などを慎重に行つた結果、次の方々が

入賞しました。

▽最優秀賞 田中賢三

▽優秀賞 松尾正一郎、吉田登志一、佐藤欣藏

▽優良賞 前田芳信、白川峰雄、川口良一、葛西倉光、長尾憲康

▽奨励賞 徳田重夫、川口隆、成田昭則、工藤栄一、棟方午之助、原田清治

町内散歩

町内に子どもたちの遊び場を。と金木町内の愛宕神社(野宮雄造講中代表)境内が改修整備され、安全な遊び場としてこのほど完成しました。

つい最近まで、広場や野原、川を対象に遊び回っていた子どもたちも、広場は宅地化、野原は遠い、川は危いといった具合に、手足をまっ黒にして遊ぶ場所がなくなってきました。

こうした中で、米町と小川町の有志が集まり、このほど、ブランコや砂場、桜の苗木を植えるなど、きれいに整備し、子どもたちに喜ばれています。

また、この愛宕神社は、昭和初期、隣の南台寺境

秋元栄蔵、三浦正芳、中谷不二吉、中谷肇

▽努力賞 泉谷久友、秋元直衛、徳田雄治、白川

広正、中谷兼行、吉田清一郎、工藤兼四郎、前田正光

坂本秀四郎、木下実、工藤只直、田中重隆、吉田賢一、中谷九、白川兼澄、増田義美

愛宕神社

内まで棧敷(観客席)が組み相撲大会や力だめし、歌会で賑わつたところです。相撲はイゲこと藤の里、不動山(白川与助のちに全国大会四連覇)、力だめしは、

神原のチヨウダ、三上長太郎と称し三俵かつぎが有名で、県下各地から力自慢が集まつたといひます。最近

は、昔の面影もなく荒放題になつていたものです。

戸籍の窓

六月

おめでとう

小松 勝彦(勝春) 嘉瀬

棟方 浩也(政俊) 金木

三瀧 哲朗(耕蔵) 川倉

今 悠貴(弘晃) 喜良市

野宮 大嵩(誠) 金木

伊藤 幸乃(秋美) 嘉瀬

土岐 太志(和代) 嘉瀬

大橋 潔枝(孝) 喜良市

山中 美香子(勝則) 嘉瀬

桑田 亮(雅弘) 喜良市

大橋 知加子(圭造) 金木

高橋 信太郎(信久) 喜良市

成田 顕恵(加志美) 中柏木

棟方 美加子(美知男) 嘉瀬

おしあわせに

(山中 明彦(林) 嘉瀬
上見美子(金右衛門) 五所市



はじめまして

勝彦ちゃん

嘉瀬 小松勝春 長男

5月27日生まれ

体重 3,505グラム

人口と世帯

6月30日現在	前月比
世帯数 3,900世帯	+1
人口 14,343人	-1
男 6,899人	+1
女 7,444人	-2

おくやみ

(白川 幸子(兼光) 嘉瀬)

(鳴海 信一(一成) 嘉瀬)

(松橋 弘美(正則) 車力村)

(須崎 秀國(梅太郎) 嘉瀬)

(須藤 秋子(幸衛) 木造町)

(古川 真一(角雄) 喜良市)

(坂本 要子(富五郎) 鶴田町)

(小林 達英(幸二) 金木)

(近藤 祐司(功) 喜良市)

(時苗 紀子(禎造) 五所市)